

うるる、AI 駆動開発を推進 エンジニア一人あたり月額 100 米ドルの AI ツール利用を支援 ～AI を前提とした次世代の開発体制を構築し、開發生産性とスキル向上を目指す～

労働力不足問題解決のリーディングカンパニーとして複数の SaaS を展開する株式会社うるる（東京都中央区、代表取締役社長：星 知也、以下「うるる」）は、「AI 駆動開発の推進計画」を開始し、全エンジニアを対象に一人あたり実質的に月額 100 米ドル規模の AI ツール利用を支援します。AI を前提とした開発プロセスへの変革を通じて、エンジニアの開發生産性とスキルを高め、その結果として顧客への価値提供のスピードと質を飛躍的に向上させることを目指します。

また、2025 年 9 月より 2027 年度卒の学生を対象とした新卒採用（以下、「27 卒新卒採用」）を開始し、次世代の人材を迎え入れる体制強化にも取り組みます。



■「AI 駆動開発の推進計画」の開始背景と目的

AI 技術の進展が著しい中、特に LLM（大規模言語モデル）はソフトウェア開発のあり方を根本から変える大きなパラダイムシフトをもたらしています。こうした変化に対応し競争優位性を確立するため、うるるは AI 駆動開発を重要な経営課題と位置づけ、エンジニアの成長と体験への投資を強化することといたしました。

うるるは創業以来、「IT・AI」と「人」のチカラをかけ合わせて活用することで、労働力不足問題の解決に向き合ってきました。本計画を通じて、エンジニアが「まず試してみる」ことを奨励し、部門横断で価値探索とナレッジ共有を加速させます。これにより、日々の開發生産性とスキルを高めるだけでなく、「埋蔵労働力資産」※の創出・活用につながる基盤づくりを目指します。

また 27 卒新卒採用では、エンジニア職の募集において「AI を乗りこなし、プロダクトを育て、心を動かす」というテーマを掲げ、次世代の開開発人材の育成支援を進めていきます。

■「AI 駆動開発の推進計画」の概要

●部門横断の推進チームによる「価値探索プログラム」

各開発組織から AI 活用に意欲的なメンバーを「ハブ人材」として選出し、部門横断の推進チームを組成。コーディング支援、テスト自動化、レビュー支援など、開発ライフサイクル全般における AI 活用の「勝ちパターン／負けパターン」を発見し、ナレッジとして形式知化・共有することを目指します。

●月額 100 米ドル規模の柔軟な AI ツール利用支援

AI 駆動開発の推進のために「全社共通の予算枠」を確保。これにより、実質的にエンジニア一人あたり月額 100 米ドル規模の AI ツール利用を可能とします。この予算の使い方は各部門の裁量に委ねられており、すでに導入されていた「GitHub Copilot」に加えて、「Vertex AI」、「Claude Code」など現場のニーズに合わせた最適なツールを柔軟に選択・活用できる体制を整えています。これは、現場の主体的な挑戦を促す「まず試してみる」という本計画の基本方針を具現化するものです。

■取締役 兼 VPoE,CIO,CRO/CISO 長屋 洋介よりコメント



うるるでは、開発のあり方を根本から変革するために AI 駆動開発への投資を進めています。エンジニア一人ひとりが AI を前提に開発に取り組むことで、日々の業務効率化に留まらず、新しい価値を素早く社会に届けられると考えています。

また、エンジニアが自らの体験を通じて成長できる環境を整えることは、企業の競争力を高めるうえで不可欠です。今回の取り組みは、そのための第一歩であり、既存の仲間はもちろん、これから加わる新卒の皆さんにとっても大きな挑戦の機会になるでしょう。

うるるはこれからも、挑戦をする文化を大切に、労働力不足問題の解決に向けて歩みを進めてまいります。

■ 今後の展望

本計画ではまず、AI 活用の事例や知見を積み重ねることから始めています。今後はそれらを活かし、段階的に取り組みを発展させ、社内での AI 活用拡大を目指してまいります。あわせて、27 卒新卒採用では AI を前提とした開発環境で成長を目指すエンジニアを募集しています。詳細は採用サイトをご覧ください。

▼採用に関する詳細は、うるる採用サイトおよび新卒採用サイトをご覧ください。

- 採用サイト：<https://recruit.uluru.biz/>
- 新卒採用サイト：https://www.uluru.biz/recruit_newgrads2027/

うるるは、今後も「人」を大切にすることで、一人ひとりの可能性を引き出しながら事業成長を推進し、その歩みを通じて労働力不足問題の解決ひいては持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

※埋蔵労働力資産とは

「埋蔵労働力資産」とは、労働意向がありながらも、さまざまな理由で就労できない「埋もれている労働力」と、IT・AI の進展によって今後代替される「埋もれゆく労働力」の 2 つから生み出される資産で、うるるが 2025 年 2 月に提唱した新たな概念です。

うるるの推計によると、現在約 15 兆円分の「埋もれている労働力」が存在し、2030 年までには約 120 兆円分の新たな価値が「埋もれゆく労働力」として創出される見込みです。両者を合わせた「埋蔵労働力資産」の経済価値は、約 135 兆円にのぼり、日本の GDP のおよそ 2 割に相当します。

うるるは、この「埋蔵労働力資産」の概念を通じて、これまで可視化されてこなかった潜在的な労働力の存在と活用可能性を社会に訴え、その創出と活用を推進することで、人口減少が進む日本における持続的な経済成長の実現を目指しています。

(プレスリリース：<https://www.uluru.biz/news/14928>)

【うるるグループ 概要】株式会社うるる (<https://www.uluru.biz/>)

ULU-RU

労働力不足解決カンパニー

うるるは、労働力不足問題解決のリーディングカンパニーとして、働きたくても働けない「埋もれている労働力」と、IT・AI によって今後代替される可能性が高い「埋もれゆく労働力」の 2 つから生み出される、「埋蔵労働力資産」の創出・活用を軸に事業を展開しております。

「IT・AI と人のチカラ」をかけ合わせた複数の SaaS の提供を通じて、「労働力不足を解決し 人と企業を豊かに」というビジョンを実現してまいります。

設立：2001 年 8 月 31 日

所在地：東京都中央区晴海 3 丁目 12-1 KDX 晴海ビル 9 F

代表者名：星 知也

事業内容：

◆CGS (Crowd Generated Service) 事業 ※CGS とは、クラウドワーカーを活用したうるる独自のビジネスモデル

- ・電話代行サービス「[fondesk \(フォンデスク\)](#)」
- ・電話自動応答サービス「[fondesk IVR \(フォンデスク アイブイアール\)](#)」
- ・入札情報速報サービス「[NJSS \(エヌジェス\)](#)」「[nSearch \(エヌ・サーチ\)](#)」
- ・幼稚園・保育園向け写真販売システム「[えんフォト](#)」
- ・出張撮影サービス「[OurPhoto \(アワーフォト\)](#)」

◆クラウドソーシング事業

- ・プラットフォーム「[シュフティ](#)」の運営

◆BPO 事業 ※

- ・総合型アウトソーシング「[うるる BPO](#)」
- ・高精度の AI-OCR サービス「[eas \(イース\)](#)」
- ・障害者雇用トータル支援サービス「[eas next \(イース ネクスト\)](#)」

※ 株式会社うるる BPO にて運営

■採用に関するお問い合わせ先

株式会社うるる 人事部 採用・組織開発課

E-Mail：hr@uluru.jp

■報道関係者のお問い合わせ先

株式会社うるる ブランド戦略部

TEL：：03-6221-3069 E-Mail：pr@uluru.jp